

「幻の安土城」復元プロジェクト・歴史セミナー
安土城築城450年・日伊外交関係樹立160周年

シンポジウム **バチカンと日本・東アジア** その歴史的交流

1581年(天正9年)、織田信長は安土を訪れたイエズス会宣教師アレッサンドロ・ヴァリニャーノに安土城と城下町を描いた「安土山図屏風」を贈りました。屏風は、その後天正遣欧使節の手によってローマ教皇グレゴリウス13世に贈られましたが、その後行方不明となり、現在もその所在は明らかではありません。

滋賀県では、安土城の実像を解明し、目に見える形にすることで、その魅力と価値を広く発信することを目的に「幻の安土城」復元プロジェクトを進めています。その中で、安土城を描いた唯一の絵画資料である「安土山図屏風」の探索にも取り組んでおり、屏風が贈られたバチカンとの交流を進めてまいりました。

このたび、バチカンから研究員をお招きし、長く屏風探索に取り組んでいるASRNのメンバーと一緒にシンポジウムを開催することとなりました。現地の資料の情報を聞くことができるまたとない機会です。多くの方のご参加をお待ちしています。

プログラム

講演「バチカンの日本・東アジア文化」

クララ・ユ・ドン氏 (バチカン図書館)

パネルディスカッション「バチカンと日本・東アジア ～その歴史的交流」

パネラー

クララ・ユ・ドン氏

マーク・アードマン氏 (メルボルン大学・ASRN)

ハイメ・ゴンザレス・ボラド氏 (九州大学外国人特別研究員・ASRN)

藤川真由氏 (明治大学・ASRN協力者)

アントン・シュバイツァー氏 (九州大学・ASRN)

新保淳乃氏 (武蔵大学・ASRN)

パオラ・カヴァリエレ氏 (ミラノ大学・ASRN)

木戸雅寿 (滋賀県観光文化スポーツ部文化財保護課)

コーディネーター

松下 浩 (滋賀県観光文化スポーツ部文化財保護課)

参加申込方法

FAX・電話・メールに、住所(市まで)・氏名(ふりがな)・連絡先(携帯電話推奨)を記入の上、下記まで申し込み。

申込締切

令和8年6月18日(木)
午後5時

申込・問い合わせ先

滋賀県観光文化スポーツ部
文化財保護課
TEL077-528-4678
FAX077-528-4956
Mail
castle@pref.shiga.lg.jp

日時：令和8年6月21日(日) 14時～16時30分 開場13時30分

会場：滋賀県男女共同参画センター 大ホール

滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4 JR琵琶湖線近江八幡駅下車徒歩約8分

定員：400名(事前申込制 先着順 参加無料)

主催：滋賀県

後援：ミラノ大学  ・イタリア文化会館-大阪  

協力：安土山図屏風探索ネットワーク (ASRN) 